

花はな通信



■中村春義さん

花を育てる楽しみ

昨年8月、第4回となる恵庭フラワーガーデニング・コンテスト「花風人」(個人部門13件、企業部門2件のエントリーがありました。)の審査が行われました。

今回は、個人部門で「花風人グランプリ」を受賞された中村春義さん(住吉町在住)のご自宅に今年2月にお邪魔し、お話をうかがいました。

花にはいつごろから興味を持たれましたか。

この場所に家を建て、約30年になりますが狭い土地にイチイの木、モミジ、ツツジ、シャクナゲ、サクラなどを植えています。もともと樹木が好きで庭木は自分で選定しています。花については、始めは路地植えをしていました、その後にプランターを中心とした花の植え方にして15年くらいになりました。今では、シーズンになるとサフィニア、ペチュニア、ベゴニアなどのプランターを50個くらい作っています。庭木と花とのバランスを保つのが大変となりつつある今日です。

ふだん心がけていることは何かありますか。

特に、ないのですが毎日の水やりとか花ガラつみなどをするのが日課となっています。妻も毎日、手伝うので除草などこまめにしているため通りかかった方から、この家には草が生えないのかと冗談まじりに言ってくる人もいます。

今年はどのようにしようとお考えですか。

色々と考えてはいるのですが、変わったことはできませんね。昨年と同じようになると思います。「花のまち」をますます広めるためにも、路地植えよりも、プランターで楽しめる方法があることを皆さんにも知っていただきたいと思います。花にお金をかけずに、多少の手間と愛情をかけると立派な花になります。

◆第4回恵庭フラワーガーデニング・コンテスト審査結果 【個人部門】

審査日:8月5日

| 氏名 | 住所 | 賞 |
|-------|------|----------|
| 中村 春義 | 住吉町 | 花風人グランプリ |
| 江良 智 | 恵み野北 | 花風人賞 |
| 中岡 正美 | 中島町 | 花風人賞 |
| 福島 賢二 | 黄金北 | 花風人賞 |
| 春木 敏夫 | 南島松 | 特別賞 |



庭木と一緒に育った花のプランター



見事な花のプランターが並んでいます。

花のまちの案内人 えにわ市民花ガイド設立へ

「花のまち・恵庭」が全国的に有名になり、個人の庭を中心のガーデニングや花の見学・視察に訪れる人々が増えています。花の見学者の多くは、恵み野地区のガーデニングや庭が連なる通りを訪れており、これに伴いルールに従って花の見学者を案内するとともに、花のまちづくりに関する情報を広く紹介する人が必要です。市民皆さんがガイドをすることにより、ご自身の花に対する意識も向上し、恵庭の良さも再発見できるものと思います。また花の見学・視察に訪れる人を温かく、親切に迎え、恵庭の歴史や文化を知っていただき、より恵庭の花々の魅力に触れてもらいたい「おもてなしのこころ」で訪れた人々を案内する「えにわ市民花ガイド」を設立します。



研究村通り(恵み野北)

2月1日から14日までの花ガイドの募集に際しては、20名の募集定員に対して24名もの市民の方々からの応募がありました。応募された市民の皆様には3月から始まる養成講座を受講していただることとなります。

養成講座は、3月から4月にかけて7回行ない、講座の講師には、滝野公園カントリーガーデンの計画・設計にたずさわれた笠康三郎氏や、元STVアナウンサーで道のまちづくり賞選考委員の橋本登代子さん、知事認定のフラワーマスター、樹木医、市職員などが講師を務め、5月から6月にかけて実地研修を行ない、6月下旬に予定している第16回恵庭・花とくらし展のガーデンツアーより活動していただく予定となっています。

第16回恵庭・花とくらし展

メインテーマ 花もよし、風もよし、人もよし、ここが恵庭

とき 平成17年6月25日(土)、26日(日)

ところ 恵庭リサーチ・ビジネスパークセンタービル
(恵庭市恵み野北3丁目1-1)

恵庭をもっとアピールしたいと思います。

イベントも大好評の「ガーデンツアー」、「フラワーマーケット」、「寄せ植えお楽しみ抽選販売」など盛りだくさんです。

皆様の来場を心よりお待ちしております。



昨年の花とくらし展

新フラワーマスター紹介



■久保 尚登さん

フラワーマスターは、北海道知事から認定された地域における花のまちづくりの指導者です。久保尚登さん（漁町在住）は、平成5年から花による商店街の環境整備のリーダーとして活動され、その魅力ある商店街通りは、平成10年度全国花のまちづくりコンクール企業部門で都市局長賞を受賞されるなど、市内商店街のお手本となっています。久保さんは、平成16年度のフラワーマスターの認定を受け、これから恵庭の花のまちづくりに積極的な関わりをもっていただけることが期待されています。

今回その抱負についてお聞きしました。

花との出会いは。

平成6年、第5回恵庭・花とくらし展の会場が漁町商店街遊ingロード壱番街で行われたことがきっかけですね。

本格的な活動は、翌年の平成7年から自分達で商店街を花で飾ろうということになった訳ですから、歴史も浅いです。自分達の持っている花樽などは数が少なく、花とくらし展での花の装飾を見ているので、あまりにも殺風景なんです。

なんとかしたいということで、平成6年の花とくらし展の写真をひっぱり出して、これに近づけようと自分達でこの姿を再現することになりました。何も知らない、素人ばかりなので花の生産者

の所へ行って色々と教えてもらいました。大変勉強になりましたね。

この後に、「花いちもんめ」というイベントを開催して、一気に盛り上がり現在の形になったと思います。

フラワーマスターとして何か抱負があれば。

自分達のまわり地域で、フラワーマスターとして何ができるか十分に考え、先駆者的な役割を担っていかなければいいなと思っています。また、恵庭の「花のまちづくり」に少しでも貢献できればと考えています。



漁町商店街遊ingロード壱番街



久保さんの店横のとおり(風の小径)

国土交通省の都市景観大賞受賞

国土交通省の2004年度都市景観大賞で恵庭市、恵み野地区が最優秀賞となる「美しいまちなみ大賞」に選ばされました。

これは、行政と市民が協力し、美しいまちなみをつくり地域の活性化に向けて努力していることが認められた結果です。10月4日の表彰式は、東京都内で行われ恵庭市長、恵み野花のまちづくり団体連合会の代表が出席し盾を受け取りました。



受賞された盾

花のまちづくり講演会開催のご案内

とき

平成17年3月20日(日) 開場12時30分、開演13時00分

ところ

恵庭リサーチ・ビジネスパークセンタービル

3階視聴覚室(恵庭市恵み野北3-1-1、TEL0123-36-3113)

講師

(有)緑化計画 代表取締役 日本データサービス(株)技術顧問
笠 康三郎 氏

演題

「花で表すもてなしの心」

笠氏は、北海道景観アドバイザー、北海道フラワーマスター認定講習会講師、札幌市大通公園花壇コンクール審査員などを歴任、さらに滝野公園カントリーガーデンの計画・設計にたずさわれ、また自らも滝野公園フラワーガイドボランティアを実践されています。

参加費

無料(申込み不要)

またとない機会かと思います。
皆様お誘いあわせの上ぜひおこしください。

※なお講演会に先立ち、平成16年度
恵庭フラワーガーデニング
コンテストの表彰式を行います。



主 催：恵庭花のまちづくり推進会議、恵庭市花いっぱい文化協会、恵庭市緑化推進委員会

後 援：恵庭市

(問合せ先)：恵庭花のまちづくり推進会議事務局／恵庭市建設部花と緑の課

TEL0123-33-3131(内線2524)

とじて保管します。



ティマル市長から素敵なプレゼント

第4回を迎えた「恵庭フラワーガーデニングコンテスト」に、ガーデニングの本場ニュージーランド・ティマル市のレイモンド市長から玄武岩のオブジェが届きました。このオブジェは、同市で産出された玄武岩を加工して作られたもので、昨年1月に恵庭商工会議所と市内の経済関係者で組織した産業調査団がティマル市を訪問した際、同市のレイモンド市長が花のまちづくりに熱心な恵庭のコンテストに、市長賞を贈りたいとの申し出により実現しました。両市の交流をきっかけとした、あたらしい賞で個人の部のグランプリに同賞が贈られ毎年、受賞者の持ち回りといたします。



ティマル市長から贈られたオブジェ

発行

恵庭・花のまちづくり推進会議

北海道恵庭市京町1番地 編集／恵庭市花と緑の課 TEL(0123)33-3131/FAX(0123)33-3175

■発行日 平成17年3月15日